

総勘定元帳

「相手先別集計」スキルの教科書

元帳を相手先ごとに並べ直す手作業を、AIスキルで数十秒に。

——先生のパソコンの中で、先生自身の手で。

1 これは何をするものか

会計ソフトから出力した**総勘定元帳のPDF**を読み取り、**科目ごとにシートを分け、相手先ごとの列 × 月ごとの行に並べ直したExcel**を自動作成します。決算資料づくりで毎年発生する「元帳をめくりながら相手先別に転記する」作業が対象です。

① 入れる

「元帳を入れる」フォルダに元帳PDFを置く



② 頼む

「相手先別に分けて」と日本語で言うだけ



③ 受け取る

「できあがり」フォルダにExcelが完成。合計はPDFと1円まで自動照合

▲ 入れたPDF原本には一切手を加えません。複数まとめて入れれば一括で処理します。

2 出力の形（実物のイメージ）

月区分	A不動産	B株式会社	Cパーキング	合計
7月	4,500	103,155		107,655
8月	4,500	103,155		107,655
9月	9,000	115,284	900	125,184
小計	18,000	321,594	900	340,494

▲ 色付きのセルは「AIが推定した箇所」。カーソルを乗せると推定の根拠がコメント表示され、シート上部にも要確認の一覧が出ます。小計・修正・税込・消費税・合計の行は数式入りで、手直しすると自動再計算されます。

— 実際の動き（動画・2分22秒）

弊社（BERRY）の総勘定元帳で、実際にやってみました。フォルダに入れる→日本語で頼む→Excelができるまでの一部始終です。

▲ 動画はWeb版（このページのURL）でご覧いただけます。

3 いちばん大事な設計思想 —— 「AIが勝手に決めない」

相手先の判定は3段階で行います。

- ① 補助科目があればそのまま採用（確定）
- ② 摘要の記載（振込名義など）をパターンで照合
- ③ どちらも無い行は、毎月の金額の連続性から推定——ただし確定させず、色を付けて先生にお返します

迷う行を機械が勝手に処理しないこと。判定の全行に根拠ログが残ること。この2点を最優先に作っています。最終判断は必ず税理士の先生の手元に残る設計です。

4 お使いの会計ソフトでも使えます

総勘定元帳に載っている情報（日付・相手科目・補助科目・摘要・金額）はどのソフトでも共通のため、ソフトを問わず対応できます。PDFのレイアウトだけ各社異なるので、初回に一度だけ読み取りの調整を行います（テスト用のダミーデータで実施しますので、実際のお客様のデータは使いません）。

5 データの取り扱い —— 2つの使い方から選べます

	かんたん重視（チャット）	データの場所重視（Code） ★おすすめ
操作	Claudeアプリのチャット画面にPDFをドラッグ&ドロップして頼む	同じアプリのCode機能で実行。「元帳を入れる」→「できあがり」のフォルダ運用で、処理プログラムはパソコンの中で動く
結果の受け取り	チャット内に出てくるExcelを、その都度クリックして保存	「できあがり」フォルダに自動で保存・蓄積（過去分がそのまま台帳に）
データの流れ	PDFはAIサーバー上で処理（暗号化・AIの学習には使われない設定で導入します）	元帳データはパソコンの外に出ません
向いている場合	まず手軽に始めたい	お客様データの所在を厳密にしたい

どちらも同じスキル・同じ出力です。クラウド会計をお使いになるのと同じ考え方で、規約と設定を整えた上でご利用いただく形を、初期設定の段階でこちらで整えます。税理士業務でのご利用には、データがパソコンの中で完結し、出力も自動で蓄積されるCode方式をおすすめしています（操作もレクチャーでお伝えする範囲で十分に扱えます）。

6 導入に必要なもの

- Claudeのアカウント（有料プラン・月3,000円程度）
- 初期設定（アカウント設定・学習オフ設定・スキルの配置）——**当方がセットアップに伺います**
- 使い方のレクチャー（要確認セルの見方・データの扱いの作法まで）

7 よくあるご質問

Q. お客様のデータをAIに渡して大丈夫？

使い方が2つあります（5章）。Code方式なら元帳データは**パソコンの外に出ません**。チャット方式の場合も、暗号化通信のうえ**AIの学習には使われない設定**で導入します——クラウド会計にデータを預けるのと同じ考え方で、規約と設定を整えてから使う形です。

Q. 数字は信用できる？ AIが間違えたら？

出力の合計は元のPDFの【合計】と**1円まで自動照合**し、一致しなければその旨を報告します。相手先の判定で迷った行は、**勝手に確定せず色を付けて返す**設計です。全行の判定根拠もログとして残ります。

Q. 仕訳をAIがやるということ？

いいえ。やるのは**すでに記帳された元帳の集計・並べ替え**だけです。会計上の判断はすべて先生の手元に残ります。

Q. パソコンは得意ではないのですが……

操作は「フォルダにPDFを入れて、日本語で頼む」だけです。初期設定はすべて当方が行い、使い方のレクチャーもセットでお付けします。

Q. 元帳の集計以外にも使える？

使えます。同じ仕組み（読み取り→整理→Excel出力）は、ほかの定型的な転記・集計作業にも応用できます。「これも自動にならないか」というご相談から広がっていきます。

Q. 費用は？

ご利用の形（導入のみ／レクチャー付き／継続サポート）に合わせて、別途ご案内いたします。

上の動画は**弊社の元帳での実演**です。次は、お手元のソフトのダミーデータ（テスト用会社の元帳PDF）を1本をご用意いただければ、**お使いのソフトの形式で動くところ**までお見せします。

導入・サポートの詳細は別途ご案内いたします。

ダウンロード [出力サンプル \(Excel\)](#) / [この資料の印刷用PDF](#)

ご利用にあたって 本ツールは集計作業を補助する確認用ツールであり、出力内容の最終確認・会計上の判断は利用者様にて行っていただく前提で設計しています。ご利用の可否のご判断は利用者様にお任せしており、本資料および本ツールの利用に起因して生じた損害について、当方は責任を負いかねますことをあらかじめご了承ください。